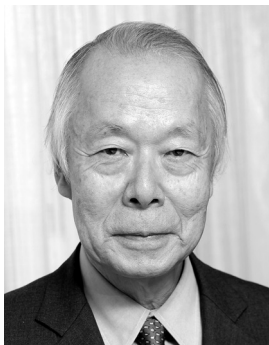


# バイデン時代の日本の安全保障を考える

静岡県立大学特任教授  
小川 おがわ 和久 かずひさ

- \*日本は危機管理のセンスが欠落
- \*北朝鮮はなぜミサイル発射を再開したか
- \*中国は喧嘩して仲良くなる国
- \*脅威に対処する意思と能力とは
- \*台湾を巡る米中のつばぜり合い
- \*コロナ対策は安全保障問題でもある
- \*中国の軍備拡張をどう考えるか
- \*尖閣問題と領海法について
- \*堅実な実力者揃いのバイデン政権
- \*なぜ辺野古よりキャンプ・ハンセンなのか



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）  
今日は、軍事アナリストの小川先生に初めて  
おいでいただきました。1945年のお生まれ  
で、自衛隊に入隊された後、同志社大学で学ば  
れ、中退後、新聞記者、週刊誌の記者等を経て  
独立をして、軍事評論家として活躍してこられ  
ました。この間、小渕内閣や小泉内閣でも政府  
にさまざまな助言をする立場もされてこられま  
したし、簡単に説明できないほどたくさん、こ  
の分野でいろいろな活躍をされておられます。

先ほどちょっと事前のお話をしておりまし  
たが、やはり日本のがんじがらめのしきたりや、  
組織というものの欠陥をつぶさに見てこられた  
ということ、今日のバイデン時代の安全保障  
という大きなテーマでございますが、日本社会

の抱えるさまざまな問題についてもお話が伺え  
るのではないかと思います。  
それでは小川先生、よろしくお願いいたしま  
す。（拍手）

## 日本は危機管理のセンスが欠落

小川 皆さんこんにちは。ご紹介いただきま  
した小川でございます。

今日は「バイデン時代の日本の安全保障を考  
える」というテーマですけれども、とにかく日  
本が苦手としているのが外交と安全保障と危機  
管理だということを申し上げたい。この分野に  
ついて日本の受験競争の勝ち組のキャリア官僚  
は20点以下の答案しか書けなかった。だから、  
私のようなアウトサイダーがそこに引っぱり込